

会 議 録

会議名 (審議会等名)	第4期第1回相模原市中央区区民会議			
事務局 (担当課)	中央区役所区政策課 電話042-769-9802(直通)			
開催日時	平成28年9月14日(水) 20時00分~20時58分			
開催場所	市立総合学習センター4階 大研修室			
出席者	委員	24人(別紙のとおり)		
	その他	0人		
	事務局	18人(中央区長、中央区役所副区長、他16人)		
公開の可否	可	不可	一部不可	傍聴者数 0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第	<p style="text-align: center;">開 会</p> <p style="text-align: center;">議 題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 会長、副会長の選出について 2 中央区区ビジョンについて 3 第3期中央区区民会議について 4 第1期から第3期までの取り組みと今後の予定について 5 その他 <p style="text-align: center;">閉 会</p>			

主な内容は次のとおり。

(会長の発言 委員の発言 事務局の発言)

開 会

開会から議題 1 中央区区民会議会長、副会長の選出まで中央区長により議事を進行した。

出席者は 24 人であり、会議の成立要件を満たしている旨、報告した。

傍聴希望者無し。

議 題

1 会長、副会長の選出について

相模原市中央区区民会議規則（以下、「区民会議規則」という。）第 3 条第 1 項及び第 2 項の規定により、会長 1 名、副会長 1 名を委員の互選により定めることとなっているため、出席委員に意見を求めた。

第 3 期の実績から、井狩委員を会長、田所委員を副会長に推薦する意見があり、全会一致で会長に井狩委員、副会長に田所委員が選出された。

～井狩会長あいさつ～

（要旨）

- ・第 3 期を振り返ると、各委員の推薦母体はもとより、9 地区のまちづくり会議によっても、地域によって抱えている課題が異なることが認識できた。
- ・私が受け持つ大学 1 年生の授業において、貧困、育児、労働問題などについて、どのように学生自身が向き合っていくかグループ討議をしたところ、学生たちが夏季休暇にボランティア活動をした背景があったためか、「選挙に行く」「地域や社会を知る」という回答が数多く寄せられ、地域との関わりを持つことの重要性に気づいてくれたことをうれしく思った。
- ・第 3 期中央区区民会議においては、若い世代の地域活動について議論を深めた。地域活動団体は、学生、生徒に新たな担い手として期待を持っているが、大学側も学生の社会参加を積極的に促す時代へ変化している。
- ・市長の諮問機関である区民会議委員であるという意識を高く持ち、各委員の所属する団体の活動がどのように社会へ還元できるかについて議論を深められる会議にしていきたい。

～ 田所副会長あいさつ～

(要旨)

- ・ 現行の区ビジョンは、地域課題のほか、大きな夢や将来像も記載されており、すべてを実現することは困難であるが、区民会議の中で区ビジョンの進行管理をしていかないと、実現に結びつかない。
- ・ まちづくり会議の委員におかれましては、中央区全体で議論すべき課題があれば、区民会議の議題としていただきたい。また、地域活動団体の委員や公募委員におかれましては、所属団体等の視点から、区ビジョンのあり方や実現策について、遠慮なく課題提起をしていただきたい。
- ・ 会議の運営にあたっては、会長と連携し、各委員の意見をできる限り反映していきたいので、協力をお願いしたい。

区民会議規則第3条第3項の規定により、議題2から議事の進行を井狩会長に交代した。

2 中央区区ビジョンについて

事務局より、「中央区区ビジョン」(冊子)をもとに、策定の経過及び計画期間、まちづくりの目標と基本方針、区ビジョンの推進体制について説明を行った。質疑無し。

3 第3期中央区区民会議について

事務局より、「相模原市中央区区民会議 報告書」(冊子)をもとに、相模原市中央区拡大区民会議の結果及びその後の区民会議における審議結果について説明を行った。質疑無し。

4 第1期から第3期までの取り組みと今後の予定について

事務局より、資料2「第1期から第3期までの取り組みとその後の予定について」をもとに、第1期における区ビジョンの策定、第2期及び第3期における実現に向けた具体的な取り組み、第4期における審議予定の事項について説明を行った。

2年間の任期中に1回程度、相模総合補給廠や淵野辺公園周辺の公共施設といった区内の視察を実施し、その後の会議に生かしてはどうか。

第4期においては、新たな区の計画策定に向けた準備期間でもあることから、居住地以外も含めて地域の状況を知っていただくことを目的に、視察の実施について検討したい。

中央区のシンボルマークが浸透していないように感じる。区民会議委員へシンボルマーク入

りのバッジを配布してはどうか。

次回の会議までに配布させていただく。なお、「中央区シンボルマーク・カラー」について説明すると、シンボルマークは、中央区のローマ字表記の頭文字Cと中央区内9地区を表し、真ん中にさくらの花びらを配したデザインとして制定した。カラーは、市役所さくら通りをはじめ、多くの桜並木があることなど、中央区をイメージさせるのにふさわしい色として「さくら色」に制定した。詳細は、「中央区ビジョン」の67ページを御覧いただきたい。

また、10月より、月はじめの開庁日に区役所職員が「さくら色」の衣服の着用や文房具の携行といった「さくら色」をPRする取り組みを実施する。

区の課題やまちづくりの方向性を区民会議で明確にしていくことが、今後の取り組みにおいて重要である。まず、重点課題の明確化とその共有化、次に、解決に向けた取り組み方策の検討や新たな区の計画の反映、そして、課題解決の取り組みを具体的に実行する組織のひとつが「中央区安全・安心と夢・希望のプロジェクト」と考えている。

区の課題を把握し共有することがまちづくりの第一歩であることを認識している。区の重点課題を明確にして「中央区安全・安心と夢・希望のプロジェクト」で具体策を実行することで活動の意義を高めたいと考えている。

また、まちづくり会議や各委員が所属する地域活動団体における活動の中から課題の把握や共有化に向け、区民会議において議論を深化していきたい。

小田急多摩線延伸といった大きな話題から、「さがみはら健幸ポイント」などの新たな市の施策、大型商業施設の開店や閉店、大型マンションの建設など、地域を取り巻く環境の変化など、委員の方々に新しい情報を正しく伝えていくような手段はないか。

区民会議の開催ペースが年4回程度であることを前提とすると、会議前の資料提供だけでは情報に新鮮さが欠ける部分もあるので、それを補う方法について検討したい。

5 その他

- ・事務局より、中央区の魅力や地域の活動を伝える情報番組「大好き！中央区」をエフエムさがみで毎月放送しており、9月22日放送分に井狩会長が出演予定である旨情報提供
- ・事務局より次回日程について、11月頃に開催予定である旨報告

閉 会

田所副会長あいさつの後、閉会

第4期第1回相模原市中央区区民会議 委員出欠席名簿

	氏名	所属等	備考	出欠席
1	井狩 芳子	和泉短期大学	会長	出席
2	石井 今朝太	小山地区まちづくり会議		出席
3	石井 トシ子	特定非営利活動法人男女共同参画さがみはら		出席
4	井上 政市	相模原交通安全協会		出席
5	上杉 愛海	公募委員		出席
6	牛尾 良一	中央地区まちづくり会議		出席
7	宇田川 隼	公益社団法人相模原青年会議所		出席
8	浦上 裕史	一般社団法人相模原市観光協会		出席
9	小倉 偉男	相模原市公民館連絡協議会		出席
10	河本 博	大野北地区まちづくり会議		出席
11	木内 哲也	一般社団法人相模原市医師会		出席
12	小林 充明	上溝地区まちづくり会議		出席
13	齋藤 春美	公募委員		出席
14	坂本 洋三	相模原市地区社会福祉協議会中央区連絡会		出席
15	島根 裕志	相模原市立小中学校PTA連絡協議会		出席
16	清水 洋子	相模原市私立保育園園長会		出席
17	未永 暁子	横山地区まちづくり会議		出席
18	関戸 丈夫	田名地区まちづくり会議		出席
19	竹田 幹夫	星が丘地区まちづくり会議		欠席
20	田代 明寛	清新地区まちづくり会議		出席
21	田所 昌訓	相模原市自治会連合会	副会長	出席
22	中西 豊和	相模原市民生委員児童委員協議会		出席
23	平林 清	光が丘地区まちづくり会議		出席
24	本郷 永子	公募委員		出席
25	横山 房男	相模原商工会議所		出席